

法人（事業所）理念		● フレアコーポレーションは、住み慣れた地域で安心して暮らしていくお手伝いをすると共に、お客様の気持ちに寄り添いながら、その人らしく生き生きとした豊かで潤いのある日常生活をサポートしていきます。				
支 援 方 針		● ご家族との連携を強化しつつ、興味や関心のある活動を企画し様々な体験を提供する中で、利用者のニーズや特性を理解しながら計画を作成します。また、定期的に見直しを行い、進捗を確認しながら支援を行います。				
営 業 時 間		平 日	9:00～18：00まで〔山本・伊丹〕 / 12：00～18：00まで〔逆瀬川〕		送迎実施の有無	あり（ 宝塚市・伊丹市： 各片道20分くらいまで。）
		休 校 日	9:00 ～ 18：00まで〔 山本・逆瀬川・伊丹 〕			
		支 援 内 容				
本 人 支 援	健 康・生 活	● 運動の重要性：簡単に体を動かせるレクを通して、運動の楽しさを体験させます。 ● 身だしなみや身の回りの整理整頓：基本的な身だしなみや、自分の持ち物を整理する方法を教えます。 ● お友達との関わり方：遊びやグループ活動を通して、他者とのコミュニケーションを促進していきます。 ● 自己肯定感の向上：成功体験を積ませる事で、自己評価を高める支援をします。 ● 危険回避のための学び：交通ルールや身の回りの安全について教えます。				
	運 動・感 覚	● バランス感覚を養う：トランポリン・バランスボール・平均台などを使って、バランス感覚を養う活動を行います。 ● リズム運動：音楽に合わせて体を動かすダンスやリズム遊びで、楽しさと運動を組み合わせます。 ● 視覚トレーニング：色や形を使ったゲームや絵本の読み聞かせ等を通じて、視覚的感觉を高めていきます。 ● 聴覚活動：音楽を聞いたり、楽器を使つての音の違いやリズム感覚を養います。 ● グループゲーム：チームで楽しむゲームを通して、社会性を養います。				
	認 知・行 動	● 課題解決のトレーニング：簡単なパズルやゲームを通して、問題解決のスキルを養っていきます。 ● 自己管理の為の目標設定：短期・長期目標を設定しながら、達成に向けた具体的な計画を立てます。 ● グループ活動：チームでの遊びやゲームを通して、協力する事の大切さを教えていきます。 ● 積極的な声掛け：本人の努力等に対して、積極的な声掛けを行う事で自信を持てるようにします。 ● タイムマネジメント：時間の概念を理解する為に、時計（タイマー）を使った活動を行います。				
	言 語 コミュニケーション	● 語彙力を増やす活動：絵本の読み聞かせや言葉遊び（しりとり等）を通して、語彙を増やしていきます。 ● 対話の練習：スタッフとの会話を通して、質問の仕方や応答の仕方を学んでいきます。 ● 会話のマナーを学ぶ：話し手と聞き手の役割を伝える事で、相手の話を聞く大切さを教えていきます。 ● 絵カードの活用：特に言葉の出にくいお子様に対して、絵カードを使った視覚的な支援を行います。				
	人 間 関 係 社 会 性	● 会話の練習：挨拶や質問など、基本的なコミュニケーションを取る機会を設けます。 ● 感情の共有：日々日常の出来事や体験を共有する時間を設けて、相手の気持ちを理解する練習をします。 ● マナー教育：公共の場でのマナーやルールを教えていきます。 ● ルールの理解と遵守：遊びやゲームを通して、ルールを理解し、学ぶ事的重要性を教えます。 ● 自己評価の促進：本人の持っている強みや改善点を振り返る事で、自己理解を深めていきます。				
家 族 支 援		● 本人の利用時の様子や発達状況等を送迎時や面談の機会を通して、お伝えし共有していきます。 ● 家族の状況やニーズは変化していくため、定期的にフォローアップを行う事で、必要に応じて支援内容を見直していきます。				
地域支援・地域連携		● 地域連携の強化：利用する相談支援事業所や併用する放デイと情報共有しながら、支援の充実に向けて意見交換を行います。				
移 行 支 援		● 日頃から学校と情報共有や意見交換を行う事で、必要に応じて支援内容等を確認していきます。 ● 日常生活に必要なスキル（料理・掃除・金銭など）を出来るだけ実践的に行い、移行後の自立に向けた準備をします。				
職員の質の向上		● 定期的な研修の実施：障がいに関する知識や支援技術等の研修を定期的に行う事で、職員の専門性を高めます。 ● ケース会議の実施：定期的にケース会議を開く事で、具体的な支援について話し合い、職員間の情報共有や課題の解決能力を高めていきます。 ● 資格取得の支援：資格取得に向けた支援を行う事で、職員の専門性を向上させます。				
主 な 行 事 等		● 季節に応じた行事：春（お花見等）・夏（夏祭りレク）・秋（ハロウィン関連のレク）・冬（クリスマス関連のレク） ● 運動:簡単な体操やゲームを通して体を動かします。 ● 料理体験：簡単な料理と一緒に作ります。 ● おでかけ体験：公園等に出かけて自然とふれあいます。 ● 農業体験：畑で野菜を育てて、収穫します。 ● クラフト体験：季節に合わせた工作を楽しみます。				

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	あんずキッズ山本			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広いレクリエーション活動を通して身辺自立・コミュニケーション力・社会性を身につけ潤滑に生活を行う力を育む支援。	レクリエーション活動が固定化させない、子供たちの成長を促す活動、活動の中で子供たちの自己選択・自己決定・コミュニケーション能力の向上を目指したプログラム作りをしています。	ご利用者様の日常の様子を見逃さず、職員間で常に意見を出し合いより良いレクリエーション活動を考案していく。
2	個々の特性に応じた細やかな対応・支援。	個々の特性を十分に理解したうえで保護者様のご意見をくみ取り、職員間で話し合いより良い支援につながるように努めている。	さらに充実を図るための取組等充実を図るためにご利用者様・保護者様から、日々のご報告時などにご意見を頂けるように取り組んでいく。
3	安心して過ごせる環境の中で興味・関心を広げ、自発的に行動・活動ができ、成長につなげていく支援。	自主性を伸ばすための見守り、自ら意見を発表できる空間作り、個々の会話力を高め、考える力を身につけられるアドバイス支援している。	子供一人ひとりの行動を注視してより多く会話することで成長のチャンスを見逃さないように努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性職員が一人のため性別を分けての支援が必要な時に配置できない時がある。	職員の確保。	職員の確保。
2	専門的分野（SST・音楽療法等）の職員がいないため専門的支援が難しい。	職員の確保。	職員の確保。
3	学校・地域との交流。	交流するための連携や準備が難しい。	こうりゅうの場所、準備時間、プログラムの立案等のための職員の確保。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あんずキッズ山本						公表日 令和8年2月6日	
利用児童数						22	回収数	20
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1				維持していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18		2			今後も十分な職員配置を行い、より良いサービス提供を心がけます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			2	インスタグラムで見るが詳しくはわからない。	維持していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1	インスタグラムで見るが詳しくはわからない。	この状態を維持していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	2				今後も維持していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1				今後も維持していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	2			内容が見直されていない部分があり修正を求めた。	今後も維持していきます。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2			内容が見直されていない部分があり修正を求めた。	今後も維持し、必要に応じて改善いたします。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				今後も維持していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1				より充実した支援を行えるように努めていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	6	9	特に必要ない。	必要に応じて改善していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					ご理解頂けるようきちんと説明いたします。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1	1	1		より分かりやすい説明を心がけます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	5	10	特に必要ない。 参加しないので分からない。	必要に応じて改善して行きます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	3			送迎時しか職員と話す機会がなく、職員によって対応が違うので詳しく分からない。	今後も維持し必要に応じて改善していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	5	3	5	連絡帳のやり取りで十分です。	定期的には行っていませんがより親身な対応と適切な助言を心がけていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1		2		今後も維持し、必要に応じて改善していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	9	7	特に必要ない。	実施していません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			3		今後も維持し、必要に応じて対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			2	連絡帳でしかわからない。	今後も維持し、必要に応じて対応していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19			1		今後も維持していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			2		今後も維持していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		2		マニュアルの周知を保護者様に広げていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			3		年に2回避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			2		安全計画についてご契約時に説明していますがより保護者様に周知いただけるようにします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			2		今後も迅速かつ適切に対応させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					必要に応じ、適切な支援を行っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			子供の気分、日によって違う。	より一層充実したプログラム作りを心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				いつもありがとうございます。	子供・保護者様により満足していただけるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あんずキッズ山本		公表日 令和8年2月6日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用目的に応じその都度スペースを確保し、ご利用者様が快適に過ごせるようにしている。	無し
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		外出レクリエーション活動時など特に配慮の必要性がある場合など職員を増員して対応している。	男性職員が1名のみで負担が大きいため男性職員の増員が課題。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	プレイルームはワンフロア、学習室、面談室とはっきりと分かれているので子供たちにも分かりやすく行動が出来ている。	玄関のみ段差があり、バリアフリー化が難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎朝、清掃及び消毒を行っている。	無し
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	ワンフロアで個室はないが学習室や面談室を利用するようにしている。	パニック時などクールダウンが必要なときなどの個室の設置。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		当日開始前のミーティングでご利用者様の引継ぎ事項、目標設定の確認を行っている。	無し
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様のご意見をお聞きした上で職員一同で話し合い業務改善に繋がるように努力している。	無し
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーテング及び月例会議等で意見を把握し、改善に努めている。	無し
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	無し	第三者による外部評価を行っていない。今後実施を検討することが課題
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	社内研修や外部研修で職員の資質の向上に努めている。	無し
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		職員全体でミーテングを行い様々な視点から適切に支援プログラムを作成している。	無し
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		こどもと保護者様のニーズや課題を客観的に踏まえたうえで分析して個別支援計画書を作成している。	無し
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援に関わる職員全体で情報を共有し、共通理解の下でこどもに最善の支援が行えるよう検討している。	無し
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画書に基づき職員間で共有して支援を行っている。	無し
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	こどもたちの適応行動の状況を日誌にまとめて職員全員が把握している。	無し
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画書の作成にあたって、ガイドラインに沿って子供の支援に対し具体的な支援内容に設定している。	無し
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全体で話し合い、活動プログラムを作成している。	無し
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員での話し合いはもちろん、こどもの意見も時には取り入れ、楽しみながら支援に繋がるようプログラムを作成している。	無し

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		こどもの状況に応じて集団活動や個別活動を取り入れ、ニーズに合わせた支援が行われるように個別支援計画書を作成している。	無し
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日支援開始前にミーティングを行い、レクリエーション活動の確認及び連絡事項、ご利用者様への支援の確認を行っている。	無し
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了時に職員間での振り返り、気づきを話し合い、職員全体に申し送りをしている。	無し
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日誌をつけています。それを職員と共有し話し合い支援の検証改善に努めといます。	無し
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリングをおこなうことで個別支援計画書の見直しを行っています。	無し
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		4つの基本活動のうち地域交流の活動が出来ていません。他の活動は日々のレクリエーション活動に取り入れて行っています。	地域交流活動が行える環境を整えることが課題です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		レクリエーション活動は基より選択の場面ごとに自己決定が出来るようにこどもに寄り添い支援しています。	無し
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	児童発達支援管理責任者並びに担当児童指導員が参加しています。	無し
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	関係機関と連携して体制を整えています。	無し
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時間等の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校、家庭との情報共有・連絡調整は適切に行っています。	無し
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	保護者様よりからの情報だけです。	必要に応じて改善したい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	今まではありません。	必要に応じて対応していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1	必要に応じて設けています	連携を深めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5	地域での交流が持たれていない。	地域での活動を取り入れたいが難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	参加できていません。	機会があれば参加を考えたい。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の連絡帳、送迎時や電話で状況や課題について話し共通理解に努めています。	無し
保	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	行っていません。	必要に応じて改善したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		ご見学・ご契約時にご説明しております。	無し
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	機会は設けていないが送迎時やお電話で子供や保護者の意思、意向を確認させていただき最善の支援が出来るように作成しています。	必要に応じて改善致します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画を示し、保護者様から支援計画の同意を頂いています。	必要に応じて改善致します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		ご相談等要望には随時適切に対応させていただき必要な助言と支援に努めています。	必要に応じて改善致します。

護 者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	実施していません。	ご要望があれば必要に応じて改善したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談や苦情、申し入れに対して、職員一同、迅速・適切に対応する体制を整えています。	無し
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		定期的にSNS等を活用して活動の概要など情報を発信しています。	無し
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		職員全体で守秘義務に努めています。	無し
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		連絡帳・送迎時・電話などを利用して対応しています。	無し
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	実施していません。	イベント時にご招待したいが対応するだけの体制ができないため実施が難しい。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	各マニュアルを作成しています。職員全体で共有、周知しています。	保護者様への周知が出来ていないため必要に応じて改善していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練・消火訓練・通報訓練を職員、子供たちと共に年二回行っています。	無し
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者様から医療機関の診断書、服薬の種類、てんかん発作などの状況等を共有し確認をしている。	必要に応じて改善致します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		医師の指示書は無いが保護者様からの指示に従い、職員全体で周知し対応している。	必要に応じて改善致します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全管理に必要な訓練を行い、安全な空間作りを職員全員で考え措置された中で支援を行っています。	必要に応じて改善致します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全計画に関して保護者様との連携はなされていないがご契約時に取り組み内容を説明させていただいています。	必要に応じて改善致します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事業所内、職員全体で再発防止に向けた対策を検討し、再発防止に努めています。	必要に応じて改善致します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	職員全員で研修を行い、適切な対応を努めています。	必要に応じて改善致します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			身体拘束を行わなければいけないご利用者様がいません。	無し